

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信 託 期 間	約５年間（2015年６月26日～2020年６月17日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当　フ　ァ　ン　ド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」（以下「アメリカン・リート・クワトロ・ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドの受益証券への投資を通じて、米国のリートに投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ※米国のリートへの投資にあたっては、米国のリート指数を対象としたETFを活用します。対象となるリート指数には、一部、モーゲージ・リートや不動産関連株式を含むことがあります。 ②当ファンドは、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカン・リート・クワトロ・ファンドでは、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコモディティ・ペーパーに投資することを基本とします。	
組　入　制　限	当　フ　ァ　ン　ド　の 投資信託証券組入上限比率	無制限
	マ　ザ　ー　フ　ァ　ン　ド　の 株　式　組　入　上　限　比　率	純資産総額の10%以下
分　配　方　針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型
米国リート・αクワトロ
（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第24期（決算日	2017年 7 月18日）
第25期（決算日	2017年 8 月17日）
第26期（決算日	2017年 9 月19日）
第27期（決算日	2017年10月17日）
第28期（決算日	2017年11月17日）
第29期（決算日	2017年12月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型　米国リート・αクワトロ（毎月分配型）」は、このたび、第29期の決算を行ないました。

ここに、第24期～第29期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 分	み 金 騰 落	中 率			
	円	円		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 8 月17日)	9,602	200	△	2.0	0.0	95.7	5,577
2 期末 (2015年 9 月17日)	7,888	200	△	15.8	0.0	97.9	5,623
3 期末 (2015年10月19日)	8,037	200		4.4	0.0	97.4	6,071
4 期末 (2015年11月17日)	8,041	200		2.5	0.0	98.5	6,329
5 期末 (2015年12月17日)	7,993	200		1.9	0.0	98.0	6,621
6 期末 (2016年 1 月18日)	7,021	200	△	9.7	0.0	98.3	5,869
7 期末 (2016年 2 月17日)	6,677	200	△	2.1	0.0	98.7	5,652
8 期末 (2016年 3 月17日)	7,233	200		11.3	0.0	98.8	6,209
9 期末 (2016年 4 月18日)	7,457	200		5.9	0.0	98.5	6,532
10期末 (2016年 5 月17日)	7,561	200		4.1	0.0	97.8	7,060
11期末 (2016年 6 月17日)	7,321	200	△	0.5	0.0	97.2	7,633
12期末 (2016年 7 月19日)	7,860	200		10.1	0.0	97.7	8,928
13期末 (2016年 8 月17日)	7,619	200	△	0.5	0.0	98.1	9,606
14期末 (2016年 9 月20日)	7,085	200	△	4.4	0.0	96.9	10,310
15期末 (2016年10月17日)	7,106	200		3.1	0.0	97.3	12,848
16期末 (2016年11月17日)	6,627	200	△	3.9	0.0	96.7	14,762
17期末 (2016年12月19日)	7,083	200		9.9	0.0	95.3	18,220
18期末 (2017年 1 月17日)	7,147	200		3.7	0.0	94.1	24,758
19期末 (2017年 2 月17日)	7,276	200		4.6	0.0	94.6	34,643
20期末 (2017年 3 月17日)	6,992	200	△	1.2	0.0	94.8	49,534
21期末 (2017年 4 月17日)	6,760	200	△	0.5	0.0	97.3	61,876
22期末 (2017年 5 月17日)	6,617	200		0.8	0.0	97.0	69,672
23期末 (2017年 6 月19日)	6,219	200	△	3.0	0.0	97.1	74,670
24期末 (2017年 7 月18日)	6,214	200		3.1	—	97.4	85,607
25期末 (2017年 8 月17日)	6,044	200		0.5	—	97.3	99,836
26期末 (2017年 9 月19日)	6,044	200		3.3	—	97.8	113,269
27期末 (2017年10月17日)	5,826	200	△	0.3	—	98.4	119,309
28期末 (2017年11月17日)	5,597	200	△	0.5	—	98.1	119,766
29期末 (2017年12月18日)	5,395	200	△	0.0	—	97.8	119,904

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

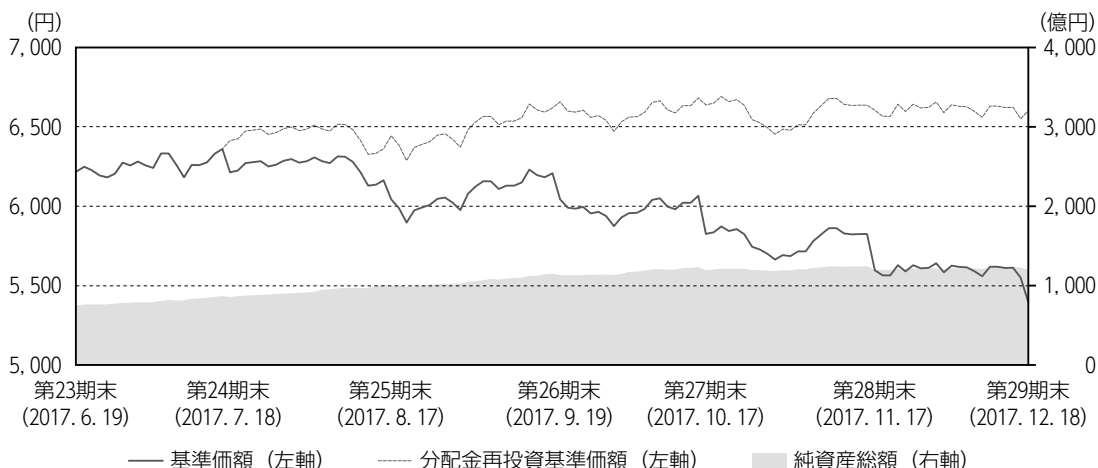
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第24期首：6,219円

第29期末：5,395円（既払分配金1,200円）

騰落率：6.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド（以下「アメリカン・リート・クワトロ・ファンド」といいます。）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドについては、米国のリートに投資し、

米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行なうとともに、リートならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、リートが上昇したことやブラジル・レアルが対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与しました。オプション取引については、リーートのオプションは若干ながらプラスに、通貨のオプションはマイナスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第24期	(期 首) 2017年 6 月19日	円 6, 219	% —	% 0.0	% 97. 1
	6 月末	6, 257	0.6	0.0	98. 1
	(期 末) 2017年 7 月18日	6, 414	3. 1	—	97. 4
第25期	(期 首) 2017年 7 月18日	6, 214	—	—	97. 4
	7 月末	6, 275	1.0	0.0	97. 1
	(期 末) 2017年 8 月17日	6, 244	0.5	—	97. 3
第26期	(期 首) 2017年 8 月17日	6, 044	—	—	97. 3
	8 月末	6, 079	0.6	—	97. 9
	(期 末) 2017年 9 月19日	6, 244	3. 3	—	97. 8
第27期	(期 首) 2017年 9 月19日	6, 044	—	—	97. 8
	9 月末	5, 930	△ 1.9	—	98. 2
	(期 末) 2017年10月17日	6, 026	△ 0.3	—	98. 4
第28期	(期 首) 2017年10月17日	5, 826	—	—	98. 4
	10月末	5, 692	△ 2.3	—	98. 4
	(期 末) 2017年11月17日	5, 797	△ 0.5	—	98. 1
第29期	(期 首) 2017年11月17日	5, 597	—	—	98. 1
	11月末	5, 641	0.8	—	98. 7
	(期 末) 2017年12月18日	5, 595	△ 0.0	—	97. 8

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 6. 20 ~ 2017. 12. 18)

■米国不動産E T F市況

i シェアーズ米国不動産E T F（配当再投資）は米ドルベースで上昇しました。第24期首より、北朝鮮による核・ミサイル開発をめぐる情勢の緊迫化や、F O M C（米国連邦公開市場委員会）においてバランスシートの縮小が決定されたこと、また追加利上げ観測の高まりなどを受けて軟調に推移する場面もありましたが、良好な米国の経済指標などを背景に株式市場が好調さを維持する中、おおむね上昇基調で推移しました。第29期末にかけては、大幅な法人税の減税などが盛り込まれた税制改革法案の成立への期待などを背景に続伸しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。第24期首から2017年7月にかけては、ブラジル議会上院が労働法改革法案を可決したことや、政府が財政健全化に向け歳出凍結の拡大と増税に踏み切る方針を示したことなどを受けて、レアルは上昇しました。8月に入ると、北朝鮮をめぐる地政学的な緊張からリスク回避的な動きが強まり、下落しました。9月は、ブラジル中央銀行が発表したインフレ報告書においてG D P（国内総生産）成長率が上方修正されたことなどを受けて、上昇しました。10月から第29期末にかけては、米国における税制改革進展への期待感が高まったことを背景にレアルは対米ドルで下落し、対円でも上値の重い展開となりました。

■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを1.00～1.25%から1.25～1.50%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を10.25%から合計3.25%ポイント引き下げ、7.00%としました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへの投資を行ないます。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

（2017. 6. 20 ～ 2017. 12. 18）

■当ファンド

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへの投資を行ないました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。投資対象とするETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第24期から第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ200円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2017年6月20日 ～2017年7月18日	2017年7月19日 ～2017年8月17日	2017年8月18日 ～2017年9月19日	2017年9月20日 ～2017年10月17日	2017年10月18日 ～2017年11月17日	2017年11月18日 ～2017年12月18日
当期分配金（税込み）（円）	200	200	200	200	200	200
対基準価額比率（％）	3.12	3.20	3.20	3.32	3.45	3.57
当期の収益（円）	193	191	200	110	124	104
当期の収益以外（円）	6	8	—	89	75	95
翌期繰越分配対象額（円）	3,586	3,596	3,628	3,544	3,471	3,379

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	<u>193.89円</u>	<u>191.08円</u>	<u>216.25円</u>	<u>110.89円</u>	<u>124.17円</u>	<u>104.74円</u>
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,444.04	3,487.73	3,517.98	3,533.47	<u>3,537.07</u>	<u>3,475.02</u>
(d) 分配準備積立金	<u>148.63</u>	<u>117.81</u>	<u>94.18</u>	<u>99.76</u>	<u>10.03</u>	<u>0.00</u>
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,786.56	3,796.63	3,828.42	3,744.13	3,671.28	3,579.76
(f) 分配金	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,586.56	3,596.63	3,628.42	3,544.13	3,471.28	3,379.76

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへの投資を行いません。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いません。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期 (2017. 6. 20～2017. 12. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0. 604%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5, 989円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0. 376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 010	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0. 010)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	37	0. 614	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年6月20日から2017年12月18日まで)

決 算 期	第 24 期 ～ 第 29 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	1,747,587.527	60,588,072	130,633.483	4,287,100

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2017年6月20日から2017年12月18日まで)

第 24 期 ～ 第 29 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	1,222,364.243	42,700,000	34	DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	130,633.483	4,287,100	32

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第24期～第29期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年6月20日から2017年12月18日まで)

決 算 期	第 24 期 ～ 第 29 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	4,860	460	9.5	—	—	—
コール・ローン	15,802,805	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第24期～第29期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 29 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND	3,616,188.403	117,262,141	97.8

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月18日現在

項 目	第 29 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	117,262,141	94.0
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	7,508,682	6.0
投資信託財産総額	124,770,983	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第23期末	第 29 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年7月18日)、(2017年8月17日)、(2017年9月19日)、(2017年10月17日)、(2017年11月17日)、(2017年12月18日) 現在

項 目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
(A) 資産	88,581,165,483円	103,274,330,198円	121,451,136,660円	123,947,474,948円	124,566,807,283円	124,770,983,862円
コール・ローン等	5,171,214,699	6,165,346,024	8,638,873,087	6,588,331,751	7,087,721,692	7,508,682,630
投資信託受益証券（評価額）	83,409,790,880	97,108,824,286	110,812,103,685	117,358,983,324	117,478,925,718	117,262,141,375
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,904	159,888	159,888	159,873	159,873	159,857
未収入金	—	—	2,000,000,000	—	—	—
(B) 負債	2,973,398,420	3,438,230,478	8,181,426,931	4,637,741,792	4,799,963,167	4,866,605,186
未払金	—	—	4,000,000,000	—	—	—
未払収益分配金	2,755,149,113	3,303,882,478	3,747,912,833	4,095,468,188	4,279,841,007	4,444,974,265
未払解約金	140,383,021	41,421,601	316,391,918	432,077,349	394,023,188	295,282,250
未払信託報酬	77,693,048	92,574,976	116,582,077	109,503,448	125,239,192	125,321,811
その他未払費用	173,238	351,423	540,103	692,807	859,780	1,026,860
(C) 純資産総額（A－B）	85,607,767,063	99,836,099,720	113,269,709,729	119,309,733,156	119,766,844,116	119,904,378,676
元本	137,757,455,688	165,194,123,925	187,395,641,681	204,773,409,402	213,992,050,366	222,248,713,271
次期繰越損益金	△ 52,149,688,625	△ 65,358,024,205	△ 74,125,931,952	△ 85,463,676,246	△ 94,225,206,250	△ 102,344,334,595
(D) 受益権総口数	137,757,455,688□	165,194,123,925□	187,395,641,681□	204,773,409,402□	213,992,050,366□	222,248,713,271□
1万口当り基準価額（C／D）	6,214円	6,044円	6,044円	5,826円	5,597円	5,395円

* 第23期末における元本額は120,070,295,882円、当作成期間（第24期～第29期）中における追加設定元本額は119,658,716,664円、同解約元本額は17,480,299,275円です。
* 第29期末の計算口数当りの純資産額は5,395円です。
* 第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は102,344,334,595円です。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)

■損益の状況

第24期	自2017年 6月20日	至2017年 7月18日	第26期	自2017年 8月18日	至2017年 9月19日	第28期	自2017年10月18日	至2017年11月17日
第25期	自2017年 7月19日	至2017年 8月17日	第27期	自2017年 9月20日	至2017年10月17日	第29期	自2017年11月18日	至2017年12月18日
項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第29期	第29期
(A) 配当等収益	2,748,900,482円	3,249,331,230円	4,169,321,208円	2,380,440,633円	2,782,706,726円	2,453,388,164円		
受取配当金	2,749,036,263	3,249,495,408	4,169,551,152	2,380,582,312	2,782,848,905	2,453,566,547		
受取利息	220	183	544	234	337	1,067		
支払利息	△ 136,001	△ 164,361	△ 230,488	△ 141,913	△ 142,516	△ 179,450		
(B) 有価証券売買損益	△ 64,432,991	△ 2,752,989,541	△ 465,605,935	△ 2,519,293,885	△ 3,250,610,767	△ 2,371,827,319		
売買益	5,274,465	8,663,313	23,571,674	23,127,027	37,104,198	21,659,091		
売買損	△ 69,707,456	△ 2,761,652,854	△ 489,177,609	△ 2,542,420,912	△ 3,287,714,965	△ 2,393,486,410		
(C) 信託報酬等	△ 77,866,286	△ 92,753,161	△ 116,770,757	△ 109,656,152	△ 125,406,165	△ 125,488,891		
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,606,601,205	403,588,528	3,586,944,516	△ 248,509,404	△ 593,310,206	△ 43,928,046		
(E) 前期繰越損益金	△ 10,779,669,525	△ 10,832,740,508	△ 13,473,682,492	△ 13,459,288,637	△ 17,516,173,774	△ 20,429,701,564		
(F) 追加信託差損益金	△ 41,221,471,192	△ 51,624,989,747	△ 60,491,281,143	△ 67,660,410,017	△ 71,835,881,263	△ 77,425,730,720		
(配当等相当額)	(47,444,243,168)	(57,615,326,388)	(65,925,417,361)	(72,356,195,893)	(75,690,562,588)	(77,231,973,912)		
(売買損益相当額)	(△ 88,665,714,360)	(△ 109,240,316,135)	(△ 126,416,698,504)	(△ 140,016,605,910)	(△ 147,526,443,851)	(△ 154,657,704,632)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 49,394,539,512	△ 62,054,141,727	△ 70,378,019,119	△ 81,368,208,058	△ 89,945,365,243	△ 97,899,360,330		
(H) 収益分配金	△ 2,755,149,113	△ 3,303,882,478	△ 3,747,912,833	△ 4,095,468,188	△ 4,279,841,007	△ 4,444,974,265		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 52,149,688,625	△ 65,358,024,205	△ 74,125,931,952	△ 85,463,676,246	△ 94,225,206,250	△ 102,344,334,595		
追加信託差損益金	△ 41,221,471,192	△ 51,624,989,747	△ 60,491,281,143	△ 67,660,410,017	△ 73,243,640,124	△ 79,542,805,717		
(配当等相当額)	(47,444,243,168)	(57,615,326,388)	(65,925,417,361)	(72,356,195,893)	(74,282,803,727)	(75,114,898,915)		
(売買損益相当額)	(△ 88,665,714,360)	(△ 109,240,316,135)	(△ 126,416,698,504)	(△ 140,016,605,910)	(△ 147,526,443,851)	(△ 154,657,704,632)		
分配準備積立金	1,963,397,769	1,798,939,670	2,069,603,831	218,301,891	—	—		
繰越損益金	△ 12,891,615,202	△ 15,531,974,128	△ 15,704,254,640	△ 18,021,568,120	△ 20,981,566,126	△ 22,801,528,878		

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,671,034,189円	3,156,578,063円	4,052,550,443円	2,270,784,476円	2,657,300,556円	2,327,899,268円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	47,444,243,168	57,615,326,388	65,925,417,361	72,356,195,893	75,690,562,588	77,231,973,912
(d) 分配準備積立金	2,047,512,693	1,946,244,085	1,764,966,221	2,042,985,603	214,781,590	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	52,162,790,050	62,718,148,536	71,742,934,025	76,669,965,972	78,562,644,734	79,559,873,180
(f) 分配金	2,755,149,113	3,303,882,478	3,747,912,833	4,095,468,188	4,279,841,007	4,444,974,265
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	49,407,640,937	59,414,266,058	67,995,021,192	72,574,497,784	74,282,803,727	75,114,898,915
(h) 受益権総口数	137,757,455,688口	165,194,123,925口	187,395,641,681口	204,773,409,402口	213,992,050,366口	222,248,713,271口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	200円	200円	200円	200円	200円	200円
（単 価）	(6, 214円)	(6, 044円)	(6, 044円)	(5, 826円)	(5, 597円)	(5, 395円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2017年12月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書

2016年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	11,296,671,499
現金および現金同等物		270,000,095
未収：		
設定申込み		400,000,000
資産合計		11,966,671,594

負債

未払：		
購入済みの投資		670,000,000
負債合計		670,000,000

資本（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産）

受益証券元本		15,880,953,362
繰越損失		(4,584,281,768)
資本合計		11,296,671,594
資本・負債合計	¥	11,966,671,594

包括利益計算書

2016年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	¥	5,255,509,632
利息収入		428
金融資産に係る純実現損失（損益通算後の評価額）		(65,546,630)
金融資産に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）		(3,325,869,755)
収益合計		1,864,093,675

費用

報酬支払代行人手数料		25,297,571
費用合計		25,297,571
営業損失		1,838,796,104
包括利益合計（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増加）	¥	1,838,796,104

2016年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	米国 REIT クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	15,788,605,343 円
評価額	11,296,671,499 円
評価損	(4,491,933,844) 円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国のリートへ投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型 米国リート・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第29期の決算日（2017年12月18日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年6月20日から2017年12月18日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
679 国庫短期証券 2017/7/31	3,110,034		
707 国庫短期証券 2017/12/11	490,003		
675 国庫短期証券 2017/7/10	470,002		
355 2年国債 0.1% 2017/8/15	290,014		
673 国庫短期証券 2017/7/3	200,001		
682 国庫短期証券 2017/8/14	150,000		
680 国庫短期証券 2017/8/7	130,002		
676 国庫短期証券 2017/7/18	20,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2017年12月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第9期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
運 用 方 法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

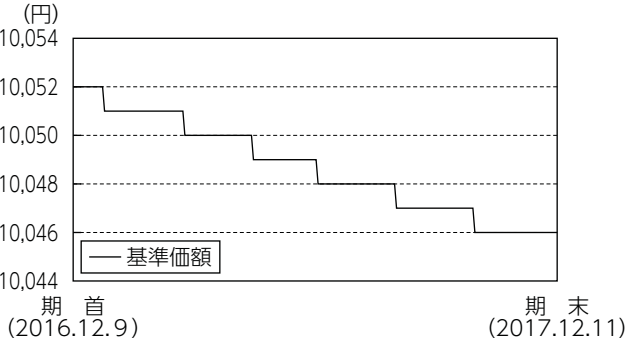
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期首)2016年12月9日	10,052	—	28.1
12月末	10,052	0.0	—
2017年1月末	10,051	△0.0	31.1
2月末	10,051	△0.0	25.0
3月末	10,050	△0.0	—
4月末	10,049	△0.0	35.2
5月末	10,049	△0.0	5.5
6月末	10,048	△0.0	0.5
7月末	10,048	△0.0	0.1
8月末	10,047	△0.0	—
9月末	10,047	△0.0	—
10月末	10,046	△0.1	—
11月末	10,046	△0.1	—
(期末)2017年12月11日	10,046	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,052円 期末：10,046円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		354,701,243	(384,002,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	46,711,084		
657 国庫短期証券 2017/4/17	31,380,607		
659 国庫短期証券 2017/4/24	30,090,880		
669 国庫短期証券 2017/6/12	29,100,894		
652 国庫短期証券 2017/3/27	27,220,217		
642 国庫短期証券 2017/2/6	25,890,391		
644 国庫短期証券 2017/5/12	22,760,976		
651 国庫短期証券 2017/3/21	21,610,540		
660 国庫短期証券 2017/5/1	15,890,292		
638 国庫短期証券 2017/1/16	12,400,099		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	127,401,750	100.0
投資信託財産総額	127,401,750	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	127,401,750,032円
コール・ローン等	127,401,750,032
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	127,401,750,032
元本	126,824,072,530
次期繰越損益金	577,677,502
(D) 受益権総口数	126,824,072,530口
1万口当り基準価額(C／D)	10,046円

* 期首における元本額は103,766,716,434円、当期中における追加設定元本額は73,674,203,533円、同解約元本額は50,616,847,437円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワミドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）4,467,705,309円、ダイワミドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）16,890,565,266円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）69,673円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－07（為替ヘッジあり）995円、通貨選択型米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）Ⅱ 995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－12（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－02（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－08（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、日本株カムイAⅠ戦略ファンド59,719,320円、ダイワJPX日経400ベア・ファンド（適格機関投資家専用）3,285,486,762円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）2,297,118,764円、ダイワミドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）35,118,078,983円、ダイワ／ロジャース国際コモディティTM・ファンド9,393,201円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOPⅩベア・ファンド（適格機関投資家専用）64,694,720,539円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ － U Sトライアングル － 703,716円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド － 予想分配金提示型 － 173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,046円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 75,315,912円
受取利息	△ 9,781,131
支払利息	△ 65,534,781
(B) 有価証券売買損益	△ 15,183
売買損	△ 15,183
(C) その他費用	△ 889,297
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 76,220,392
(E) 前期繰越損益金	539,015,307
(F) 解約差損益金	△243,233,880
(G) 追加信託差損益金	358,116,467
(H) 合計(D + E + F + G)	577,677,502
次期繰越損益金(H)	577,677,502

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。